

フランシスカン神父&修道士による 能登半島地震被災者支援と報告②



2月9日に瀬田修道院を出発した元田勝哉神父と修道士たちが、被災者支援の拠点となっている名古屋教区「のどサポートセンター」(金沢教会)と連携し、羽咋教会にボランティアセンターを開設しました。

水の配布や瓦礫撤去に加え、富山湾側の七尾教会で行われている「じんのび食堂」も支援しています。(「じんのび」は方言で、「ゆったり」「のんびり」という意味です。)

2/19 (月)

7:00 朝ミサ

8:30 今日の段取り確認、ベース作りと水支援。

13:30 ボランティア受け入れ準備。資材の購入と搬入。

15:00 七尾にて、社会福祉協議会の責任者と対談。

★七尾ボランティアセンターの責任者から、要望と要請を聞いた。→瓦礫撤去への参加。

運転手や同乗する人材を求めておられたので、まず、2/21 (水) 10:00 ~ 15:00 羽咋教会から元田含め3名で参加してみる。

2/20 (火)

7:00 朝ミサ

9:00 羽咋ベースにて話し合い

10:00 ~

- ・水支援
- ・ベースのトイレの水漏れの修繕
- ・ベースの給湯器が不完全燃焼しているため、業者に連絡。後日確認&修理。

2/24 (土)

6:30 朝ミサ

7:50 七尾ボランティアセンターへ

9:00 県のボランティア 81名 + 運転手

※私たちは軽トラに瓦礫等、被災した粗大ゴミを乗せ、運んだ。

15:00 作業終了→羽咋教会へ

※現地の人々が、粗大ゴミなどを捨ててに行く集積場にも行きました



【布団のみのゴミたち】

集積場に着いても、1時間半から2時間は待ちます。分別も厳しく、置くことができずに持ち帰らないといけないケースも多いです。

2/25 (日)

7:00 朝ミサ

8:30 七尾教会へ

10:00 七尾教会にてミサ

11:30 ~ じんのび食堂 ※うどん (富山4教会8名)

随時 水支援 ★飲料水 2l × 6 を 12箱を届ける。



昨日の瓦礫撤去作業で会ったご夫妻に今日、水 (2l × 6 を 2箱) を持っていったら喜んでくれました (ホッ)

2/26 (月)

6:30 朝ミサ

8:15 ~ 15:00 瓦礫撤去作業

- ・他の軽トラの整備
- ・水支援の要請 2件あり

2/27 (火)

7:30 朝ミサ

9:00 羽咋ベースの改善

(ズームで) 社会福祉協議会の責任者とボランティアの高速道路無償化について相談。



昼前ごろから水支援

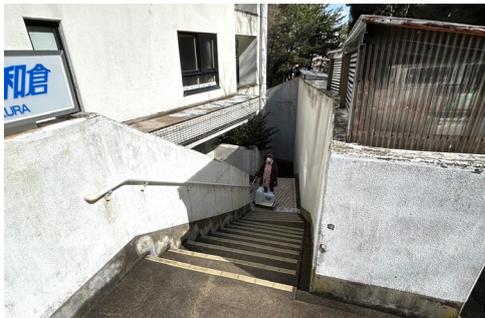
- ・新規の高齢女性：生活用水 20ℓ × 5
- ・朝、電話があった高齢女性：生活用水 200ℓ
- ・避難所から帰宅した高齢女性：飲料水 2ℓ × 8 を 3箱

◇現場の声と私の感想◇

昨日、水支援の依頼をされた方は、被災してから2ヶ月半、写真の階段を、20ℓのポリタンク2～3個を運び続けているそうです。

階段下まで、2つ足して5個のポリタンクをお運びしたところ泣かれました。というのも、私の前に、別の所に水を運んで欲しいと頼んだら、「自分で飲料水を買ってこい」と言われたそうです。個人的には、その言葉を言った相手も限界のところに居るため心が狭くなっていたのかな、と感じています。

すべての人が、何気ない言葉で傷つくことはありませんように、お祈りしていただけたら幸いです。



2/28 (水)

7:30 朝ミサ

9:00 掃除後、屋内のゴミを金沢教会へ

10:00 洗面台横の給湯器を診てもらおう ※後日、業者を呼んでの対応となった。

- ・屋内・屋外の清掃
- ・随時 水支援

18:00「のとサポートセンター」スタッフ会議

羽咋教会からはズームで参加

※羽咋教会の給湯器

- ・室内：不完全燃焼して、黒い煙がでる。
 - ・屋外：昨年、給湯器内の水が凍結し、内部の管が破裂したとのこと。
- 基本、人が住んでいなかったため、修理・修繕が必要です。

瀬田でやってることと変わらないなあ、と思った今日この頃です(ほっ)

3/1 (月)

7:30 朝ミサ

10:00 水支援

- ・故障中の給湯器の話し合い
- ・明日の瓦礫撤去作業参加の連絡
- ・包括支援センターの人たちとの話し合いのアポ取り

16:00 『ついたち ついとうの祈り』

※2月より毎月1日は、七尾教会横の幼稚園にて、一般の方々も参加できる祈りの集いが開かれている。



『ついたち ついとうの祈り』は、YouTube で配信しています。

3月1日のライブ配信では、被災した時間 16:10 に七尾教会の鐘を鳴らし、子ども達と共に、沈黙の祈りを捧げました。

YouTube 動画はこちらからご覧いただけます

